

革新力

「変化を恐れない文化」「協創」とは、自前主義にこだわらず、社内と「協創」

大阪府摂津市、木々の関係者、異業種企業とともに新たな価値を生み出すことだ。

ダイキン工業の「テクノロジー・イノベーションセンター」だ。その

の中では、技術者たちが、日々、新たな課題に取り組み。「ワイガヤステージ」と呼ぶ、

シームレスな空間がある。部門を越え、知見を融合させながら、発

想のきっかけ作りを行う。ダイキンの強みは、ダイキンの強み

ダイキン工業は、世界でもありません。その

だ。その成長を支える『新しい人に出会う』のは、「変化を恐れない文化」と「協創」だ。けた。

「空気」に新たな価値を与え、暮らしと社会を変えていくダイキン工業



上は、未来の温度設計個室イメージ。画像提供ニダイキン工業。下は、大阪・関西万博のレストラン「水空SUIKUU」の店舗イメージ。画像提供ニサントリーHD・ダイキン工業



いま注目されるのは、AI技術を活用した新たな空調サービスは、次のように述べた。「遠隔自動省エネ制御」だ。空調機のセンサーのデータと気象情報に基つき、学習したAIが空調機の処理すべき熱負荷の予測を行い、効率的な空調機の運転方法を導き出す。快適な室温環境を調節し、エネルギー効率を飛躍的に高めるだけでなく、人々のストレスも軽減する。

インドネシアの首都ジャカルタ近郊。工業団地に設立した住宅用エアコン工場で量産化が始まった。インドネシアの空調市場はアジア最大級。経済成長に伴う中間所得層の増加から需要はさらに拡大することが予想さ

5月14日の開所に植林だけではない。その背景にある社会課題にも取り組む。

大阪・関西万博のレストラン「水空SUIKUU(すいくう)」まるで高原にいるかのようだ。独自に開発した高い清浄効果を発揮する空調システムにより、清々しい高原の

■町工場からグローバル企業に

1999年には無給水加湿を売りにした「うるるとさらら」シリーズを投入。そのほか、2012年には温

地球の空気環境は年々過酷さを増している。空気をコントロールする力はますます重要だ。ダイキン工業は、

1924年、当時40歳の山田巖氏が、大阪発。その後も冷暖房兼用のエアコン「ヒートポンプパッケージエアコン」を発売。1台で

地球温暖化への対応。創業以来、常に時代の一步先を見据えた技術革新により、業界の常識を塗り変えてきた。

「新しい人に会う」飛行機用ラジエーターチューブの製造に取り組んだ。戦後すぐの混

AI技術を活用した空調サービス

乱期を乗り越えて1951年、日本初のパケジ型エアコンを開発。その後冷暖房兼用のエアコン「ヒートポンプパッケージエアコン」を発売。1台で冷暖房が可能とな

その後、多くの空調メーカーが導入し世界各